

ひまわり通信



後援会ニュース

2021年10月24日

日本共産党ふじき百合子後援会
庄原市東本町2-6-6
☎ 0824-72-3366
Fax 0824-74-6336

野党共闘で新しい政権を

総選挙が19日公示、31日投票で始まりまし。

市民連合と野党4党(共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組)は

- ◎消費税の減税
 - ◎安保法制廃止
 - ◎選択的夫婦別姓導入
 - ◎医療費削減政策の転換
 - ◎辺野古新基地中止
 - ◎原発のない脱炭素社会
 - ◎核兵器禁止条約に参加
- など20項目の「野党共通政策」に調印しました。自公政治をチェンジする力ナメの政策です。政権交代で、あなたの願いを実現しましょう。

選挙に行こう!!

—あなたの一票が政治を変える—
若い世代の投票率の低さが目立つようになってから久しくなります。18歳からの選挙権となっても同様です。
いま若手芸能人らが一齐に投票を呼びかける動画が反響を呼んでいます。

「投票はあなたの声」と題し、広告や政府の宣伝ではなく、自分たちの意思でつくった映像だ。

「まず意思を示さないと」「足をふみだすことが大切なのではないのかな」「自分の未来のこともかかわってくるから」「社会の中で、自分がいるっていうことを確認できる」「ぼくは無関心でいたくない。だから投票します。」など…

—これまで政治から距離を置いてきた芸能人が、いまを生きるべくやわたしとなって語る思い。SNS上で拡散され、政治を考える機会にもなっています。

共産党から県への要望に対するまとめ

◎国、県道の草刈りは、以前のように年2回行うこと。特に通学路や国定公園など観光地に向かう道は1回では危険である。

↓草刈りについては、原則年1回実施しており、平成26年度からは交通量の多い国道や

通学路、さらに、おもてなしの観点から観光周遊ルートなどにおいては、年2回に草刈り頻度を見直している。

◎国道183号の尾引坂に歩道がない。狭い坂道で危険。是非計画にあげて頂きたい。

↓当該箇所については、「広島県道路整備計画2021」において、新たに事業実施箇所として位置づけられたところである。

市民と語る会が始まります

行政回覧とともに、全戸に「市民と語る会」の案内が届きます。会場は自治振興区単位に21会場、議員は4班体制で行います。地域別テーマや共通テーマに基づいて進めますが、今年から一議員として設定されたテーマについて自由に発言できるようにしました。これまでは議会全体としての立場から私見は述べないとしていましたから、大きな前進です。多くのおみなさんにご参加をお待ちしています。

広島県知事選 について

10月28日告示、11月14日投票で行われます。

□□対策での全国的にも先進的なPCR検査の積極的な推進は評価できます。しかし、大企業優遇、先端産業重視で、地域産業、農林水産業の大規模化の推進、地域医療構想における病床削減などは県民の命とくらしを守るには不十分です。詳しくは、広島民報や法定ピラでお知らせします。

日本共産党は「ひとりひとりを大切にするカラフルな県政」の実現めざして、中村たかえさん(35歳)が立候補します。10月28日のポスター掲示など、可能な方のご協力をよろしく願います。



どんなことでも
お気軽にご相談ください
ふじき百合子
080-1906-4673

赤旗主張(2021年10月19日)より

政権交代実現し歴史動かそう

総選挙はきょう公示されます。自民・公明政権を続けるのか、市民と野党の共闘で新しい政権をつくることができるのか。政権選択が最大の焦点です。岸田文雄政権は、貧富の差を広げ、国政私物化と強権で政治を荒廃させた安倍晋三元政権・菅義偉前政権を受け継ぐ姿勢を一層あらわにしています。コロナ失政の大本を改める立場もありません。これでは政治は行き詰まるばかりです。国民の声が生きる政治の実現には政権交代しかありません。歴史的な選挙戦を勝ち抜き、政治の新しいページを開こうではありませんか。

国民の願いは政治の転換

岸田氏は党首討論などで、経済政策アベノミクスを積極的に評価し、それを経済運営の柱にすることを公言しています。外交・安全保障政策でも「敵基地攻撃能力」の保有などに前のめりの姿勢を隠しません。核兵器禁止条約への参加も拒否しています。国民の平和を願う声に逆らう立場は、安倍・菅政権と変わりません。

岸田首相は17日、侵略戦争を美化する靖国神社の秋季例大祭に合わせ「真榊(まさかき)」と呼ばれる供物を奉納しました。安倍氏、菅氏の首相時代のやり方の踏襲です。首相就任直後の岸田氏の真榊奉納は、過去の戦争に反省のない安倍・菅政治を忠実に引き継ぐことを内外に示したものです。「安倍カラー」に塗りつぶされた政権に国民の求める政治は期待できません。

共同通信調査(「東京」18日付)では安倍・菅政権の路線を「転換するべきだ」が68・9%を占めました。政治はこの声に正面からこたえなければなりません。

野党の共通政策は、内政でも外交でも政治姿勢でも安倍・菅政治を大本から切り替える内容を盛り込みました。日本共産党と立憲民主党は共通政策を実行するための政権協力の合意もしました。野党は、定数1を争う小選挙区289の73・7%で候補者を一本化してたたかうことを決めました。政権交代実現に向けた本気の共闘態勢が整ったことは極めて重要です。

自民党の甘利明幹事長は選挙をめぐり「自由、民主主義の思想のもとに運営される政権か、共産主義が初めて入ってくる政権か」などと攻撃します。全く見当違いです。野党の共通政策は、日本の政治に立憲主義、民主主義、平和主義を取り戻し、国民の暮らしを豊かにするという内容です。政権協力合意は、共通政策を実現する範囲で限定的な閣外協力をするという確認です。日本共産党が独自の主張や立場を政権に持ち込まないことは何度も表明しています。

だいたい国会で強行採決を繰り返し、金権腐敗疑惑を隠ぺいし、公文書改ざんを引き起こした自民党は民主主義を口にできるのか。問われるのは民主主義を壊してきた自公政権か、民主主義を守る市民と野党の政権かの選択です。

「比例は共産」広げ抜き

日本共産党は戦前の過酷な弾圧に抗し、命懸けて自由と民主主義の旗を掲げ続けました。理想とする共産主義社会の特徴は、全ての人間の自由で全面的な発展です。日本共産党の党名には不屈のたたかいの歴史と理想が込められています。野党共闘で重要な役割を果たしている日本共産党の躍進で政権交代を必ず実現しましょう。「比例は共産党」を広げに広げていただくことを心から呼びかけます。